

長野労働局発表 (29-19)  
平成 29 年 7 月 20 日

担 当	長野労働局雇用環境・均等室		
	雇用環境改善・均等推進監理官	森	孝行
	室長補佐	小林	みや子
	助成金係長	吉田	佳奈代
	電話	026-223-0560	

## 業務改善助成金の活用により、従業員の賃金を引き上げた事例を紹介します（平成 29 年度第 1 四半期）

長野労働局では、平成 28 年度、労働能率増進のための設備投資等について業務改善計画を作成・実施するとともに、事業場内で最も低い時間給を 30 円以上引き上げた 15 の事業主に対し、業務改善助成金を支給しました。

そのうち平成 29 年度第 1 四半期に賃金引上げ後の状況について報告を受けた 8 の事例について、別紙のとおりご紹介します。

### 【(参考) 業務改善助成金】

#### 【平成 29 年度における支給要件】

- ・労働能率増進のための設備投資等について、業務改善計画を作成し、これを実施します。
- ・事業場内の最低賃金を一定額以上引き上げる計画を作成し、これを実施します。

#### 【支給額】

- ・引上げ前の事業場内最低賃金額と事業場内最低賃金の引上げ額によって 5 つのコースから選択できます。

引上げ前の事業場内最低賃金	引上げ額	助成率	支給上限額
750 円未満	30 円以上	現在長野県の最低賃金は 770 円のため該当なし	
800 円未満	40 円以上	7/10 <sup>※</sup> (常時使用する労働者数が企業全体で 30 人以下の事業場は 3/4)  ※生産性要件を満たした場合は 3/4 (常時使用する労働者数が企業全体で 30 人以下の事業場は 4/5)	70 万円
1,000 円未満	60 円以上		100 万円
800 円以上	90 円以上		150 万円
1,000 円未満	120 円以上		200 万円

(別紙) 平成 29 年度第 1 四半期に報告を受けた業務改善助成金活用事例

## 平成29年度第1四半期に報告を受けた業務改善助成金活用事例

No.	業種	事業場名	所在地	活用内容
1	インターネット付随サービス業	株式会社メディカル・コロンブス	松本市	会員の医療関係者に情報発信を個別に行っており、メールの作成・送信、コンテンツの作成に時間を費やしていた。メール配信システムと高性能スキャナーを導入し、ウェブサイトの改良を行うことにより、事務作業時間を短縮した。その結果、余剰時間を広報・営業活動に充てることできるようになった。
2	製造業	有限会社ささき木の子園	阿南町	廃菌床をボトルから掻き出す作業の機械は、古く、不具合が頻繁に発生し、作業効率が悪かった。最新式の振動式掻出機を導入することにより、作業時間・メンテナンスに要する時間を短縮し、業務効率が改善した。
3	製造業	株式会社やまへい 本社・漬物工場	小諸市	サンテーション(殺菌作業・洗浄作業)機能の優れた裁断機を導入することにより、サンテーションに要する時間が始業時・終業時ともに半分になった。また、不良品の減少と併せ、製造能力が30%増加した。
4	飲食料品卸売業	株式会社小林多男 商店	長野市	既存のボイラーは熱効率が悪く、製菓材料の加熱殺菌処理に多くの時間を要したほか、お湯が沸くまでに労働者の待ち時間が発生していた。熱効率の良いボイラーを設置することにより、一度に殺菌できる材料を増やし、お湯が沸くまでの待ち時間を短縮した。
5	機械器具小売業	有限会社フィールド マシナリー 本店	茅野市	手作業で広い敷地内の草刈りを行わなければならないと、多くの時間と労力を費やしていた。油圧ショベルを導入することにより、作業時間を10分の1に短縮し、作業員が1人で行える業務とした。また、冬は雪かきに使用し、年間を通して業務効率が改善した。
6	製造業	信越理研株式会社	長野市	スweep型超音波洗浄機の導入により、洗浄時間を1か月当たり約80時間短縮した。また、不良製品が減少し、不良製品への対応に要する労働時間を大幅に削減でき、業務効率が改善した。
7	運輸業	辰野タクシー株式会社	辰野町	タクシー業務用タクコンを導入することにより、運行管理業務・未収処理・給与計算等の業務処理に要する時間を飛躍的に短縮した。また、複雑な給与計算におけるミスを防ぎスムーズに作業できるようになった。
8	その他の小売業	有限会社カネリキ	大町市	電子薬歴システムを導入することにより、薬歴と処方箋の情報をパソコンで一元管理し、来客者に短時間で情報提供できるようにした。これら事務負担軽減の結果、来客者にきめ細やかな対応ができるようになりサービスが向上した。